

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

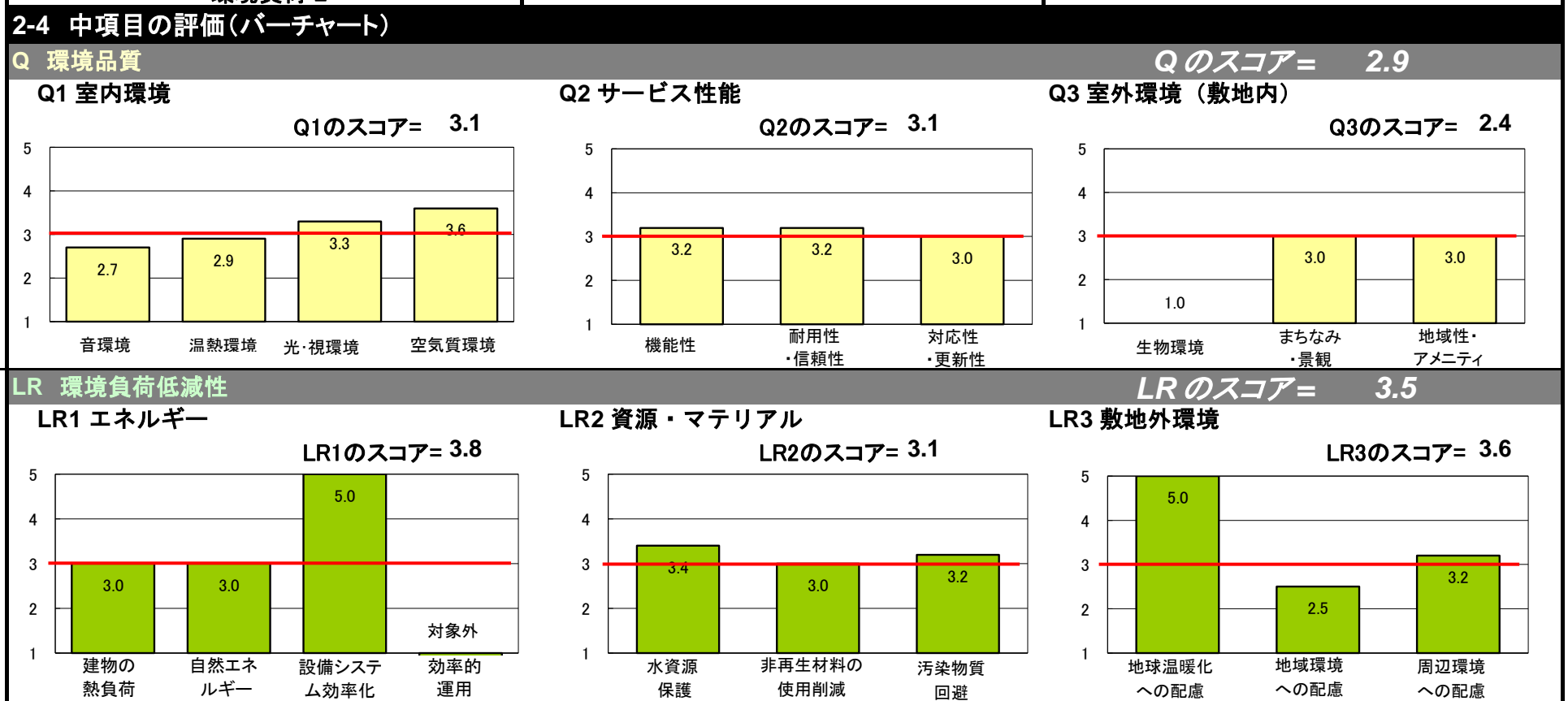
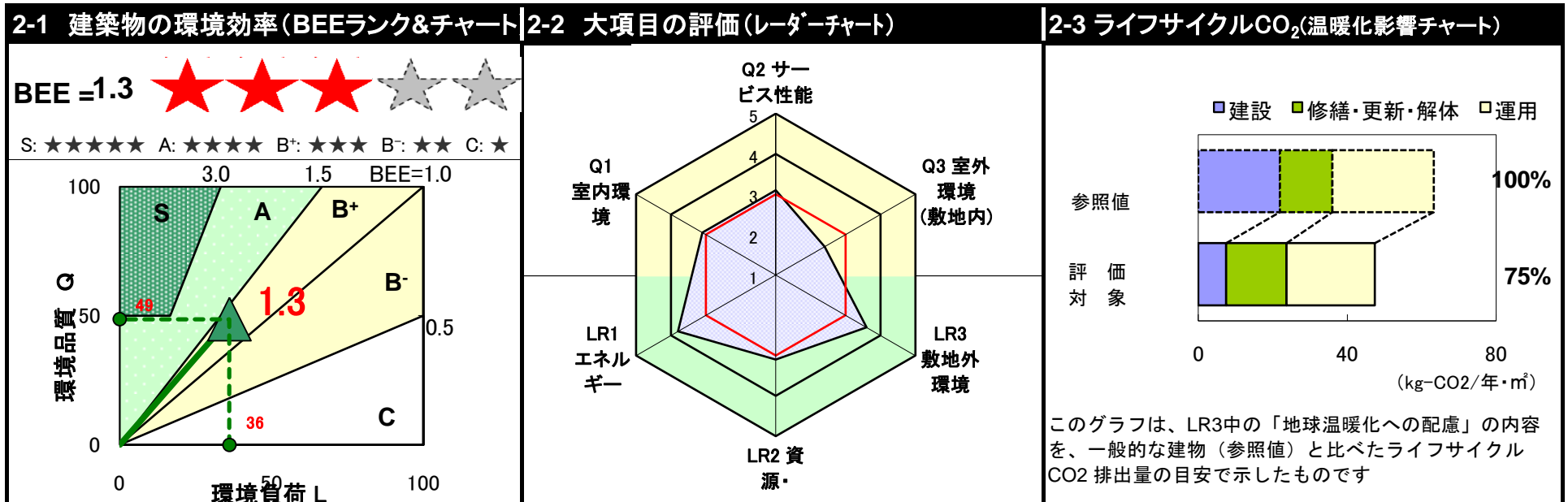
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)竹屋町マンション計画	階数	地上14F地下1階
建設地	広島市中区南竹屋町2-7、2-5	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・防火地域	平均居住人員	137人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年7月25日
敷地面積	773 m ²	作成者	柴崎 和彦
建築面積	312 m ²	確認日	
延床面積	3,607 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 1.9	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価 省エネ対策等級3相当を確保。/ 燃焼系潜熱回収型給湯器を採用。/ 節水型便器の採用。/ 節水型の給水器具を採用。/ 可能な限りCO ₂ の排出を削減。	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地道路側に出来るだけ植栽を配置し、広島市緑化促進制度の緑化率相当を確保した。/ 住戸数以上の駐車台数を確保。	設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価 劣化対策等級3相当を確保。/ 住戸内給水はサヤ管工法を採用し、排水管のコンクリート埋込なし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される